

国際看護研究会 NEWSLETTER

No.77



2015. 4. 15 発行

本号の内容は以下のとおりです。

I. 第 79 回運営委員会報告	_____	p.1
II. 第 76 回国際看護研究会講演会報告	_____	p.2
III. 第 77 回国際看護研究会講演会のお知らせ	_____	p.5
IV. 国際看護研究会第 18 回学術集会のお知らせ	_____	p.5
皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）	_____	p.6

※本文に記載されている振込先やメールアドレスについては、現在は使われておりませんのでご注意ください。

I. 第 79 回運営委員会報告

国際看護研究会第 79 回運営委員会は 3 月 14 日（土）に JICA 地球ひろば（JICA 市ヶ谷ビル）で開催された。会議では、第 18 回学術集会準備状況について、9 月 26 日（土）の JICA 横浜での開催を目指して準備委員会が 1 月 24 回に開催されたことが報告された。本年は青年海外協力隊創設 50 周年であり、これに関連したシンポジウムを検討していたが、委員からは国際協力活動は NGO も行っているため、協力隊に限定しない方がいいとの意見が出され、企画担当者で再検討を依頼することにした。また今後の講演会について討議を行った。

協議事項として運営委員選挙結果を受けて 6 名が承認され、留任委員 4 名と合わせて 2015

年4月から運営委員は以下の10名に決定された（敬称略）。

新委員：大野夏代、河原宣子、久保恭子、田中ゆり、永峰卓哉、山田智恵里

留任委員：伊藤尚子、齋藤恵子、森真貴子、森淑江

学会化ワーキンググループへの参加を表明した会員でメーリングリストを作成し、検討事項について意見交換をして、2015年9月の総会に何らかの報告ができるように活動することに決定した。

2015年度は第7回スタディツアー開催年であり（3年に1回開催）、ツアー先にインドネシア、フィジーが候補としてあげられ、6月の運営委員会での決定後に7月のニューステーターを通じて募集を開始することにした。なお旅行業法との関係により、旅行会社の協力を得ることにした。

次回運営委員会は2015年6月13日（土）10時よりJICA市ヶ谷ビル（JICA地球ひろば）で開催予定である。

Ⅱ. 第76回国際看護講演会報告

第76回の講演会は2015年3月14日（土）に国際協力機構研究所（JICA市ヶ谷研究所）にて開催されました。講師の雨宮こずえ氏（一般財団法人国際開発機構【FASID】国際開発研究センター 主任）より「ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の概要と学び」についてお話いただきました。



【講演抄録】

ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の概要と学び

雨宮こずえ

（一般財団法人国際開発機構【FASID】国際開発研究センター 主任）

ロンドン大学衛生熱帯医学大学院（London School of Hygiene and Tropical Medicine）では、国際保健に関わる多くの学生が学び、国際社会で活躍している。その大学院にて、公衆衛生学修士コース、Tropical Nursing ディプロマコースに在籍した経験から、LSHTMの上記2コースの概要について報告する。

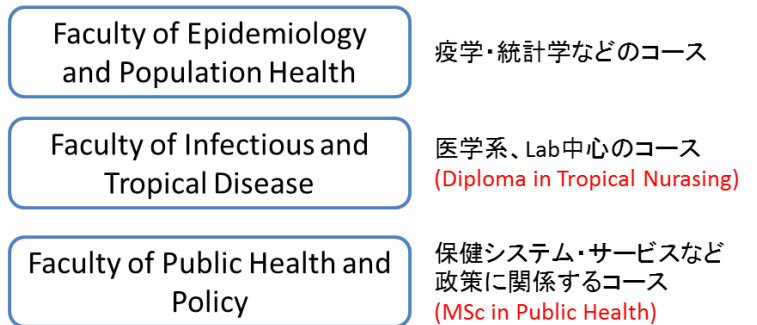
・大学の歴史

LSHTMは、1899年に設立された研究を中心に行う大学院である。当時のロンドンには、熱帯地域植民地を行来する英国人や移民の流入により検疫活動や感染症対策を行う必要があった。その一端を担ったのがLSHTMであった。そして、時代の流れと共に、研究内容も公衆衛生全般へと移り変わっていった。ロンドンと言えば疫学で有名なジョン・スノウによる

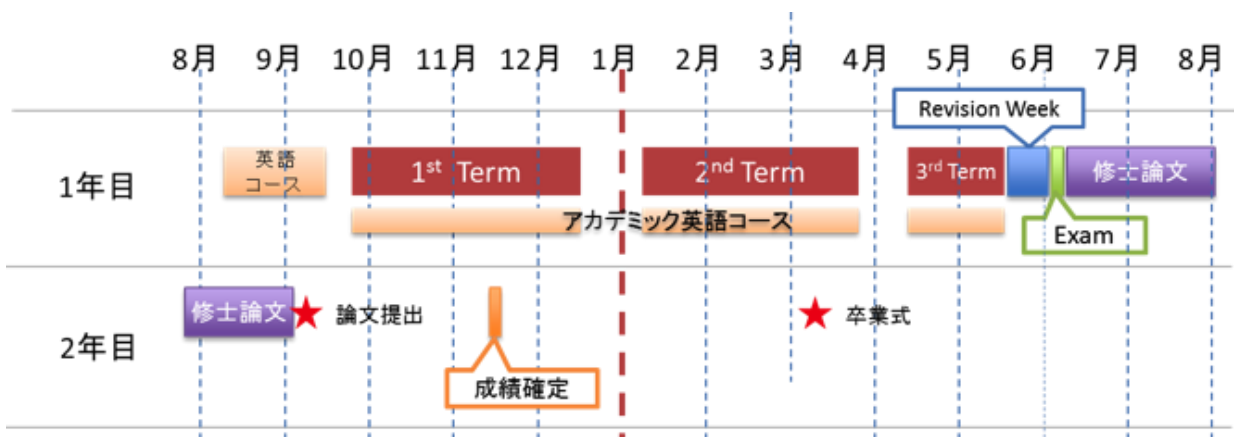
コレラの研究など、大学周辺には、歴史的に保健にゆかりのある地域が点在している。

・学部構成

学部構成は右記の通りである。“医師”であることを条件とするコースも多く、医師の継続教育の場としても大きな役割を担っている。また、LSHTMは専門大学院となっており修士課程・博士課程・ディプロマコース・ショートコース（数日から数週間）・通信過程などのコースが設置されている。



<MSc in Public Health>



・修士課程年間スケジュール

修学年数が1年と短いため、学期修了後の3ヶ月間で修士論文を仕上げる必要がある。生徒へのサポート体制は充実しており、放課後などには英語を母国語としない生徒向けの大学英語や、数学基礎コース、パソコンソフト、データベースの使用方法などの講義を選択することができる。また、チューター制度をとっており、勉学・生活面についての相談を自由に行うことができる。

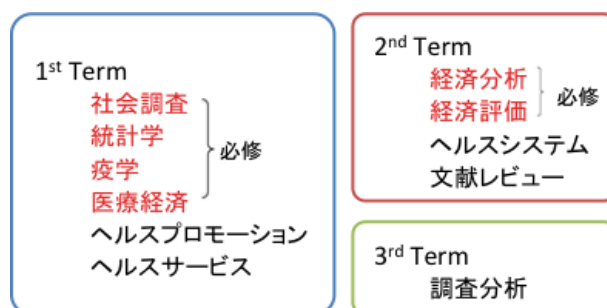
・授業構成

授業は3時間単位、60分のレクチャーと90分のセミナーで構成されている。レクチャーは大部屋での講義が中心で、セミナーは10人前後の少人数でのディスカッション、プレゼンテーションなどが中心となる。プレゼンテーションはすべての生徒にその機会が与えられ、準備に多くの時間を必要とする。また、ディスカッションに備えて、参考文献に目を

通すなど予習にも時間を費やす必要がある。

・授業科目

履修した授業科目は右記の通り。1 学期目はコース内の基礎的な科目を履修する。2 学期以降は、公衆衛生コース内での専攻に分かれ、より専門的な授業を履修する。専門知識の取得と平行して、研究・調査を実施するための基本的手法を学ぶ授業も多く開講されており、アカデミア世界の“お作法”の習得が求められているように感じた。



・学生の構成

公衆衛生コースに限ると、女性の人数が多く、国籍は先進国と途上国とが2対1程度である。バックグラウンドは医療系の生徒が70%程度を占めており、その半分は医師であった。非医療系の生徒であっても、途上国保健活動の経験があるなど保健の知見を有している場合が多い。

・修士論文

10,000words 以内で作成する。テーマは所属コースに関連する内容となるが、文献レビュー、ポリシーレポート、リサーチペーパーから選択することになる。実質的に3カ月間で仕上げる必要があるため、データ収集は難しく文献レビューを選択する学生が多い。

<Diploma in Tropical Nursing>

・ディプロマコース概要

ディプロマコースは週1日×19週間の講座となる(年に2コース開講)。週1日であるため、英国内(周辺国)で就労している学生が多く、毎週飛行機で通学する学生や、アメリカやカナダから渡英し、この講座履修の為に半年間ロンドンに滞在する学生も1割程度在籍していた。

授業は、熱帯医学系から保健学系と広く網羅している。また、講義以外に実験室での授業があり、マラリア検査(ギムザ染色)や、寄生虫の鑑別、血液型検査やクロスマッチな

ど、人的リソースが乏しい地域で、看護師という枠を超えて必要とされる技術も習得することができる。

・学生の構成

応募には看護師または助産師免許、臨床経験が必須となる。臨床経験に加えて、途上国での経験をもつ学生は2割程度であり、今後途上国での活動を希望している学生が多い。英国で就労している学生が多いが、国籍は英国以外が多く、移民として多くの看護師が英国で働いている現状を垣間見ることができた。



・最終評価

授業内で課されるエッセイ (2,000words)、実技試験 (実験室での検査手技、寄生虫の鑑別など)、正誤問題などから評価される。無事修了すると、ディプロマの修了証が発行される。

<上記コースを履修して>

国際保健に向き合う中で、上記 2 コースにおいてマクロ (修士課程) とマイクロ (ディプロマコース)、両方の視点で学ぶことができたのは大変有用であると感じている。また、教授陣だけに留まらず、LSHTM に集まる学生のバックグラウンドは多種多様でもあり、国際舞台での経験を豊富に持っている方も多く、学生同士の学びだけで多くの刺激を得ることができた。

ロンドンという街も大変魅力的であり、1年間、この町で勉学に勤しみながら、英国文化に触れることができたのも忘れられない経験となった。公衆衛生、国際保健に興味のある方には、LSHTM で学ばれることを大いにお勧めしたい。

Ⅲ.第 77 回国際看護研究会講演会のお知らせ

日 時：2015 年 6 月 13 日 (土) 13:00~15:00 (12:45~受付開始)

会 場：国際協力機構研究所 (JICA 市ヶ谷研究所) 203 号室

(所在地：東京都新宿区市谷本村町 10-5)

講師：森 淑江氏 (群馬大学大学院保健学研究科)

テーマ：「タイで学んだ看護の原点－国際看護の実習で得られたもの－」

概要：群馬大学保健学科看護学専攻 4 年生は最終実習である看護学総合実習として看護の様々な分野から希望して選択することになっており、国際看護学を選択した学生は毎年 9 月に 1 週間、タイのコンケンにある県立シリントン病院内のハンセン病セルフケアクリニックで実習を行います。この実習を通じて学生は看護が本来目指しているもの、看護の力を実感し、毎年看護の原点がここにあるという感想をもらして実習を終えています。その実習について事前準備から実習の実際に至るまでをお話しします。

IV. 国際看護研究会第 18 回学術集会のお知らせ

テーマ：途上国と遠隔教育でつなぐ国際看護協力

学術集会会長：辻村弘美 (群馬大学大学院保健学研究科看護学講座)

会 期：2015 年 9 月 26 日 (土) 10 時開始

会 場：独立行政法人国際協力機構 JICA 横浜

(〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1)

演題募集期間：4 月 15 日～7 月 10 日 (金) 17 時まで

問い合わせ：国際看護研究会第 18 回学術集会事務局

H P : <http://jsin18.web.fc2.com/>

e-mail : kokusaikango18@gmail.com

V. 皆様へのお願い・お知らせ (事務局より)

いつも本研究会の運営にご協力いただき、ありがとうございます。

1. 2014 年度の会費をまだ納めていない方は、至急お振込をお願い致します。

新年度の会費納入が開始されました。2014 年度の会費を未納の方は恐縮ですが、至急、お振込みをお願いします。研究会は会員の皆様からお振込頂く年会費により運営されています。納入年度は封筒の宛名の右下に会員番号とともに記載されています。

年会費：一般会員 3,000 円、学生会員 (大学院生を含む) 2,000 円

(2015 年度会費は 2015 年 7 月末日までにご入金下さい)

年会費振込先：(同封の払込用紙をご使用ください)

国際看護研究会 ゆうちょ口座番号 00150-6-121478

振込用紙の通信欄にご記入いただく内容：

【一般会員の方】

- ・一般会員の□に印を入れ、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

【学生会員の方】

- ・学生会員の□に印を入れ、学校名・学部学科・学年、会員番号、会費の納入年度をご記入ください。

* 払込用紙の金額 3,000 円を 2,000 円に修正してご使用ください。

2. 新学期を迎え国内外に転居された方もいらっしゃるかと思います。最近転居先不明で戻ってくる場合が多くなっています。

転居された方は研究会事務局 E-mail (kokusaikango@iris.ocn.ne.jp) あてに新住所をご連絡下さい。尚、海外にも NEWSLETTER をお送りしています。

3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報告、活動国の様子、医療事情、あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。
4. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。
5. 第 17 回学術集会抄録の残部があります。ご希望の方はその旨明記の上、抄録代として 500 円、郵送代として 140 円の合計 640 円分の切手（82 円までの小額切手でお願いします）と返送先を書いた A4 サイズ用の返信用封筒を事務局までお送りください。
6. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動の更なる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど、本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。

※個人名で書かれた原稿内容は研究会の意見を反映するものではありません。また、ニュースレターの記事に関して無断転載を禁じます。皆様のご理解をお願いいたします。

JSIN Newsletter